

高砂高校81回生学年通信

Late Bloomer

*font 変えてみました

第3号 2026年6月2日(火)発行



紫陽花 (アジサイ)

学年生活指導・宮本先生より

中間考査が終わり、2週間が経過しました。みなさんはルール・マナーを守って学校生活を送れていますか。5月の最初にも話をしましたが、それでも服装の乱れ、スマートフォンの指導は毎日のように起こっています。5月にした話を改めて、みなさんにしておきたいと思います。

制服というのは、高校生にとっての正装です。社会に出ると、スーツや礼服というものがそれに当たります。この服装がきちんと着こなせていない人は、「だらしない人だな」と判断をされてしまいます。あなた自身やあなたの会社にとって良いことは一つもありません。今みなさんは、高砂高校の1年生です。地域の方や来校された方は、みなさんの姿を見て、「高砂高校はどんな学校なのか」を感じています。つまり、一人ひとりが学校の看板を背負っています。制服を正しく着こなしましょう。

スマートフォンは校内にいる間は電源を切っておくことがルールです。休み時間や放課後に使っている人はいませんか。バレないだろう、友だちも使っているからいいだろう、と言ってそれに流されるのはやめましょう。一人に1台タブレット端末も配布されました。スマートフォンとともにルールを遵守するようにしてください。通信機器については社会に出てからもルールがあります。忘れないように。

「凡事徹底」という言葉があります。特別なことではなく、当たり前のことを徹底して続けること。服装を整える、時間を守る、挨拶をする、そういう基本の積み重ねが、みなさん自身の成長につながります。

81回生全員で協力し、良い学年、良い高砂高校を作り上げていきましょう。

6月の主な予定

4日	木	耳鼻科検診
16日	火	尿検査2次、カウンセリング (23,30日も)
17日	水	文化祭準備(午後)
18日	木	文化祭
19日	金	



作文紹介コーナー

4月当初に、皆さんに「どのような高校生活を送りたいか」というテーマで作文を書いてもらいました。今回はその中から皆さんに紹介したい文章を掲載します。

私が高校生活で頑張りたいことは、勉強と部活動の両立です。私は看護系の仕事に就きたいと考えています。看護系の仕事は、知識や技術、コミュニケーション能力などが必要とされています。そのため、自分の夢へ少しずつ近づけるよう自分から積極的に行動し、授業に取り組みたいと考えています。

～（中略）～

中学校の部活動では、一生懸命に練習し、チームの目標の県大会出場を達成することができました。しかし、県大会では勝つことができず、後悔が残ったまま引退してしまいました。高校では、全力でプレーし、中学時の目標を超えられるように練習を積み重ね努力したいです。（一部抜粋）

1年1組 Aさん

私は充実した高校生活を送りたいです。なぜかというと、中学生の頃から高校生に憧れていたので、してみたいことがたくさんあるからです。やりたいことを全部達成できるかはわかりませんが、いろいろなことに挑戦していきたいです。楽しみにしていることは、文化祭と体育祭です。高校の文化祭は中学とは違ったことを思うので、特に楽しみにしています。行事ではクラスで協力し合うことが増えてくると思うので、クラスのみなどとできるだけ早く友達になって、楽しくて明るく、助け合えるクラスにしていきたいです。（一部抜粋）

1年2組 Bさん

私は、元気に楽しく納得のいくような高校生活を送りたいです。

学習面では、できるだけテスト2週間前から勉強に取り組み、自分の行きたい大学や自分のなりたい職業に近づけるよう、1年生のうちから学習習慣をつけたいです。

生活面では、クラスメイトや他のクラスの人にも思いやりの気持ちを持って接したいです。相手の気持ちを尊重し、自分の意見も尊重できるような、そんな大人になりたいです。（一部抜粋）

1年2組 Cさん

（裏面へ続く）

(続き)

僕は、明るく楽しい高校生活を送りたいと思っています。そのために、したいことが3つあります。

一つ目は、学校行事を頑張るということです。全部全力で楽しもうと思っています。クラスのみなどと協力して、後悔がないようにしたいと思います。

二つ目は、日常生活についてです。まずは、元気な声で挨拶をすること、次に校則を守ることです。お互いが気持ち良く生活するためです。また、困っている人がいたらいちばんに動いて助けたいと思います。

三つ目は、勉強です。あらかじめ計画を立てて、自分なりに頑張ろうと思っています。わからないことはすぐに聞き、不安をなくしたいです。(一部抜粋)

1年3組 Dさん

入学して2か月が経ちましたが、入学時に立てた目標は達成に向かっているでしょうか。高校生活を充実したものにしたいという気持ちは、誰もが持っているのではないのでしょうか。初心を忘れず、地道にそれぞれの目標に向かっていきましょう。

今回は、1・2・3組の方の文章を掲載しました。次回は、4・5組の作文を紹介します。

学年主任より

「最近気になること ～素直な心で～」

人から注意を受けるようなことがあったら、皆さんの心はどう反応しますか。校内で先生方や先輩から、校外で保護者や知り合いではない大人から注意をされて、自分の誤りを素直に認めることができますか。「なんでそんなこと言われるのだろう」「そんなルールはないはずだ」と、まずは疑問が頭に浮かぶかもしれません。確かに何でも無批判に受け入れる(=自分の頭で何も考えない)ことは良くはありません。しかし自分のしていることを正当化しようとして相手に反発するのなら少し考え直してほしいです。社会生活について、全てを網羅したルールブックなど作れるわけではないし、規則に縛られて盲目的に従うのは誰しも嫌なことです。だから自分の頭で考えて、これはルールを曲げていないかとか反発して言い返そうとしていないかセルフチェックをしてくれたらと思っています。

もし人から注意を受けて反論(自分の考え)があるなら、まずは担任の先生やその他話しやすい先生に相談してみてください。自分ひとりで抱えてイライラしたりモヤモヤしたりしては高校生活を楽しめません。私たち教員は、この学校を出てからも人に迷惑をかけない大人になってほしいと思っているし、皆さんの高校生活が少しでも良いものになることを願っています。